


2017年度

基本資料

事業計画書
収支予算書
関連資料

公益社団法人 岡山青年会議所

2017年度スローガン

<p>公益社団法人日本青年会議所 スローガン</p> <p>自己成長を求め「日本道」を歩もう 「日本を変えるのはオレたちだ!!」</p>	<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 スローガン</p> <p>自立したまちと、 人とひとが集う中国の実現</p>
<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 スローガン</p> <p>誰もが誇れるまちと 豪傑たちが集う岡山の実現</p>	<p>公益社団法人岡山青年会議所 スローガン</p> 

〔目 次〕

[1]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	基本理念	基本方針	2	
[2]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	理事長所信		3	
[3]	副理事長方針				5	
[4]	専務理事・常任理事方針				6	
[5]	委員長事業計画				7	
[6]	監事抱負				11	
[7]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	委員会職務分掌		12	
[8]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	年間公式スケジュール表		14	
[9]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	組織図		16	
[10]	公益社団法人日本青年会議所	2017年度	出向者		17	
[11]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2017年度	出向者	17	
[12]	公益社団法人日本青年会議所	中国地区	岡山ブロック協議会	2017年度	出向者	17
[13]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	理事長セクレタリー		17	
[14]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	役員選挙管理委員会	委嘱メンバー	17	
[15]	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	収支予算書		18	
(付)	公益社団法人岡山青年会議所	2017年度	理事長公職委嘱表		21	
	公益社団法人日本青年会議所	2017年度	組織図		22	
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区協議会	2017年度	組織図	23	
	公益社団法人日本青年会議所	中国地区	岡山ブロック協議会	2017年度	組織図	23
	公益社団法人岡山青年会議所	歴代理事長			24	



基本理念 「おかやま」にとってもっとも存在意義のある団体であるために、拡張性のある活動を意識することで、岡山青年会議所の価値を高めよう。そして、自律したひとづくりを通じて、誇りと自信を胸に郷土おかやまのために活動し、まちとひとと岡山J.Cの未来への確かな一歩を踏み出そう。

基本方針 郷土おかやまに対する責務として、自律したリーダーを輩出するために、明確なビジョンをもって成長しよう。私たちメンバーひとりひとりが輝くことによってその魅力を伝え、岡山青年会議所の存在感を高めよう。

スケラビリティを意識し、行政や他団体と連携を密にすることで、存在意義のある事業の確立に挑戦しよう。新しい感受性と先見的な感覚をさらに磨き、誇りに想えるまち「おかやま」を創造していこう。

ひとりひとりが「おもてなし」の精神で、互いを尊重し、真におもいやり、築き上げる繋がりを持って、岡山青年会議所の価値を高めよう。すべてのことに意味を見出す積極性をもって取り組み、深く、そして高潔な友情を培おう。

青年会議所の心髄を迫及し、一義のある空間を創出しよう。地域からより必要とされる公益団体へと力強く進化する為に、未来を見据えて見聞を広くし、秩序を正して時代に即した組織運営を確立しよう。

〔2〕公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 理事長所信



2011年 7月入会
2012年 会員研修委員会
2013年 まちづくり委員会 幹事
2014年 総務委員会 副委員長
2015年 会員拡大特別委員会 理事委員長
2016年 副理事長 兼 ひとつづくり室・会員研修委員会 委員長

第67代理事長 高見 宣 哉

青年と呼ばれる我々はインターネットの普及と時を同じくして社会人となりました。以降、時間軸は加速度的に圧縮され、濃密になった世界は様々な可能性と価値観の多様化を日ごとに推し進めています。情報や経済の格差がまち、国、世界といったどの単位でも広がる中で今、岡山青年会議所は何をすべきなのでしょう。株価の回復とともに地方創生から一億総活躍社会を目指しながら、欧州を中心とした不安定な経済情勢、2016年4月に起きた熊本地震のような自然の脅威や漠然とした将来に対する不安の中で今、岡山青年会議所は何ができるのでしょうか。

岡山青年会議所の誇るべき財産は連綿と受け継がれてきたひとつづくりの風土にあります。強固な一体感に基づいた組織やおもてなしの精神に裏打ちされた礼儀礼節はもとより、懸命にやればやるほどに気づきや学びが得られ、ひととの繋がりが広がり、或いは醸成される風土。明るい豊かな社会を築き上げようと集まり散じた66年間の久遠の風土を現代社会でどのように具現化していくのか、気概と可能性と共に進んでいかなければなりません。

岡山JC設立趣意書は「経済活動は、人類社会の基盤であり青年は人類社会発展の原動力であります。」という言葉からはじまっています。色褪せるどころか、今つくられたかのようなこの言葉のもと、実直に、猛々しく、そして毅然たるJC活動を邁進し、郷土おかやまの発展の原動力として存在感を高めていきましょう。

<ひとつづくり室>進取への挑戦

岡山青年会議所を岡山青年会議所たらしめる所以のひとつにして最大の要因はひとつづくりにあります。ただ入会しているだけでは何ら意味を成すものではなく、参加してはじめて蓄積することのできる、そんな活動を通して修練を積むことで自律したリーダーとなり、そのプロセスの中でかけがえのない友情を育む。時代とともに手法は違えども、誇りをもって取り組み続けたこのひとつづくりこそが岡山青年会議所の醍醐味であり性質です。懸命にJC活動に取り組むことが困難な社会情勢の中で、仲間へ背中を見せ、背中を押し、支え合い、覇気をもって挑戦することで卓越したリーダーへと変貌を遂げる。それは郷土おかやまに対する私たちの使命であると同時に、快く送り出してくれている会社や家族に対する責務でもあります。明確なビジョンをもって、岡山青年会議所という「学び舎」で実践を経験し、成長を目指しましょう。

一方で、底を打ったかに見える会員数ですが、時勢も相まって必ずしも世間に歓迎されているとは言えません。「その製品を商品にしようとする場合には、その製品を手に入れたいという欲求を、人々の間に喚起しなければ、いかに優れた製品であっても商品にはなり得ない」という言葉があります。JC活動の魅力や魅力を伝えるということは、或いは岡山青年会議所の存在感を高めるということは、公益社団法人という人の集まりである以上、私たちひとりひとりがスペシャリティを持ち、輝かねばなりません。そして、その原因がこの岡山青年会議所における活動にあることが重要なのです。

<まちづくり室>拡張性への挑戦

岡山青年会議所はひとつづくりと同様にまちづくりの団体であることを標榜しています。まちづくりのできる人材を育成するので、行政との連携をもっと濃密にし、郷土おかやまにとって大切なことは何か、「岡山青年会議所ができることは何か」という目的や志を高め続けなければなりません。少子高齢化社会の中、人口推移が比較的緩やかな岡山ではありますが、教育や医療の仕組み、ライフスタイル、ダイバーシティや都市形成も含めた、産業や企業の構造に至るまで社会の在り方を提案できる鋭敏で先見的な感覚が必要になります。岡山の強みを活かし、更なるまちの魅力向上を図るためには、雇用創出や地域資源を掘り起こし、安心して出産や子育てができる環境づくりを進めていかなければなりません。若い世代が希望を抱く社会の実現に向けて、健全で、共感を呼ぶ事業を創りあげましょう。また、岡山青年会議所以外の選択肢がある時代だからこそ、行政も含めたスケールビリティ（拡張性）を意識することも重要です。意義や志を貫き通すためには、独力の活動に固執する必要はなく、規模が必要なときや、不得手を補う力があつた方が効果的な場合もあります。明確に道筋を見出し、手法にとらわれることなく、誇りに想えるまち「おかやま」を創造する事業を思い切って展開していきましょう。

また、今年で24回目を迎える「うらじゃ」は、踊り連の練習風景を河川敷や公園で見かけることも珍しくなくなり、

すっかりおかやまの夏の風物詩として浸透しています。運動会で「うらじゃ」を踊る児童の父親や母親が踊り子として参加していることもあるのではないのでしょうか。先輩方が、「共生と融和」をテーマに、地域の活性化を目指し、創り育ててきた「うらじゃ」。運営や振興に積極的に携わることで、本祭の賑わいは勿論のこと、まちづくり、教育、観光といった多くの切り口をもったおかやまの資源としての更なる発展を見据えて取り組みます。

今のおかやまに必要なこと。これからのおかやまに必要なこと。行政、企業、他団体、そして市民を巻き込みながらまちのために展開していくことでこれからの岡山青年会議所のまちづくりを確立していきましょう。

<会員交流室>深く清々しい繋がりへの挑戦

青年会議所の強みである人と人との繋がりを醸成するためには苦労や感動を共有する時間や事象が必要であるとともに、その体験はLOMの内外を問いません。そのような場をいかに心地良く、有意義な空間とするか。貴重な時間を削って参加してくれたメンバーのために、或いはそんな想いで設営してくれたメンバーのために、私たちは礼儀礼節を重んじ、感謝の気持ちを胸に秘めて振る舞うことで肝胆相照らす仲となり、腹心の友を為すこととなります。県外や国外であっても、岡山青年会議所が培ってきた「おもてなし」の精神で、敬意を示し、親交を深めると同時に気づきや学びのある空間、時間を実践することで自分自身の糧となります。

私たちのJC活動は郷土おかやまに根差すものですが、LOMや地域に留まることなく地方や国、そして世界へと広がりがあります。だからこそ、組織を代表して大きなフィールドで活躍するメンバーは岡山青年会議所の志を胸に刻み、広い視野で、多種多様な価値観や考え方を深く学び、地域を超えた友情を育むことで岡山青年会議所のこれからの可能性を高めることに繋がります。すべてのことに意味があると言われていますが、すべてのことに意味を見出す積極性をもって能動的に取り組んでいきましょう。

ただ忘れてはいけないのが、この交流の場は青年会議所だけで成立してはおりません。携わる人もいれば見ている人もいます。親交を深めるために時間を費やすからこそ、その在り方そのものが周囲からみても高潔であるべき団体として、毅然とした所作振舞いを絶えず意識しなければなりません。

<総務室>規律と一体感のある組織への挑戦

例会はメンバーが一斉に集い、互いの活動を知ることのできる交流の場です。だからこそ目的や意図、成果をその都度明確にした設営をすることで学びの場として開催することが必要となります。半ば義務的に参加する会ではなく、積極的に足を運ぶ会となることで更に活気と交流の溢れる会となり、好循環を導きます。凜とした、規律ある例会に意義という熱量を加えることで岡山青年会議所らしい時間を創出しましょう。

また、公益社団法人である岡山青年会議所は郷土おかやまのために効果的な組織で在り続けなければなりません。そのためには、一般企業と同様にガバナンスの効いた、適材適所を念頭に組織化し、運営していく必要があります。しかしながら、「一枚岩」「結束力」と表現されることの多い岡山青年会議所の適材適所とは能力だけではありません。まちのため、ひとのためにできることは何かを追い求める情熱と、持続的に前進する勇氣と理合いを兼ね備えた組織を支える高い精度と透明性を基盤として運営していかなければなりません。

また、そんな岡山青年会議所を世間に広く知ってもらうためにも、広報活動が極めて重要となります。マスメディアとの密接な情報共有は勿論のこと、会報誌やSNSといったツールを用いた積極的な情報発信を通じて周知を徹底し、自身のブランディングを進めることは、これからの岡山青年会議所にとって必要不可欠な積み重ねであり、且つ、先見性を高めるための土台となります。まちのため、ひとのため、そして岡山青年会議所のために活動する私たちの軌跡や情報を、受け手を意識して発信していきましょう。

<結びに>

いつか来る死の間際に「大事な人生をあんところで無駄に過ごしてしまったな」と思ったとしたら、これほど不幸なことはありません。「私の人生は岡山青年会議所があったから、岡山青年会議所で出逢った友がいたからこんなにも幸せだった」と思いたいというのは言わば当然ではないのでしょうか。私たちは皆、大切な青年期をこの岡山青年会議所で過ごす決心をした同志です。まだまだ潤沢とは言えない会員数や存在意義のある事業の展開といった課題や困難が溢れています。面倒だ、休みたい、そんな気持ちになることもあるかもしれません。しかし私たちはそれらを打破しなければならない理由を既に知っています。プライドと気概をもって活動する意義を私たちは自分の目で確かめています。入会に至る動機や職業、育った環境、果ては価値観まで千差万別であるにもかかわらず、この岡山青年会議所で過ごした期間を振り返ったときに出てくる言葉や溢れる想いは皆同じであることを先輩方が証明してくださっています。変革という美名のもとに大切な本質が失われるようなことがあってはいけません。愚痴や言い訳を口にする前に熟慮に熟慮を重ね、過去を紐解き、風土を絶やさず、そして仲間と共に勇猛果敢に一歩を踏み出しましょう。

人格は繰り返す行動の総計である。

それゆえに優秀さは単発的な行動にあらず、習慣である。

連綿と培い育った誇りと自負を胸に確かな一歩を踏み出そう。

最後に、本年度、公益社団法人日本青年会議所中国地区協議会に会長として出向させていただき佐野範一君、公益社団法人日本青年会議所に議長として出向させていただき李大成君をはじめ、数多くのメンバーを出向させていただくことになりました。地域を問わず役割と責任を果たすために、岡山青年会議所一丸となって万全の態勢をもって支援させていただき所存です。

特別会員の皆様方、そして関係各位におかれましては、公益社団法人岡山青年会議所に対しまして絶大なるご支援ご協力とともに、ご指導ご鞭撻を賜りますことを衷心よりお願い申し上げます。

〔3〕副理事長方針



ひとづくり室

副理事長 **李 大成**

高見理事長より、岡山青年会議所の根幹ともいふべき、ひとづくり室の担当副理事長という大役を拝命し、身の引き締まる思いです。今までの背景をしっかりと受け止めながらも次代のことを考え、岸委員長率いる会員研修委員会メンバー、古市委員長率いるリソース向上委員会メンバーとともに、全力で取り組んで参る所存でございます。

岡山青年会議所の責務であります、自律したリーダーを生み出すため、L O Mの宝である新会員に対して修練の期間を設けます。そして岡山青年会議所から郷土おかやまの未来に必要な人材の排出を見据え、研修プログラムを実施いたします。

また、現在の長期ビジョンにも掲げております会員数については、ここ数年微増してはいますが、まだ安心できません。今ここで私たちメンバーひとりひとりがより一層輝くことを意識して岡山青年会議所の魅力をまちに伝える土壌をつくって参ります。そして今日より明日、今年より来年、岡山青年会議所のリソースが向上していくことを目的として事業や活動を行って参ります。

最後に、特別会員・現役会員の皆様方には一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2006年 7月入会
2007年 総務財政委員会
2008年 会員研修委員会 幹事
2009年 出向支援特別委員会 幹事
2010年 日本J C特別委員会 副委員長
2011年 例会・親睦委員会 副委員長
2012年 例会・親睦委員会 理事委員長
2013年 会員研修委員会 理事委員長
2014年 常任理事
2015年 交流室副理事長
2016年 監事



まちづくり室

副理事長 **小林 佑輔**

本年度、高見理事長よりまちづくり室担当副理事長という大役を仰せつかり、ご指名いただいたことに誇りを感じると同時に、その責任の重さを強く感じております。全力で高見理事長をお支えし、岡山のまちのために職務を全うして参ります。

岡山青年会議所が、岡山のまちから必要とされる団体であり続けるためには、新しい感受性と先見的な感覚を磨き、より存在感を示していかなければなりません。その為には、行政や、多くの他団体と手を携え、スケール感のある健全かつ共感を得る事業を確立していく必要があります。また、マスメディアを活用した宣伝や告知など、より多くの市民の皆様へ周知していただける手法も検討して参ります。過去にとらわれず、斬新な発想と鋭敏な手法で、誇りに想えるまち岡山を創造して参ります。また、本年で24回目を迎える「うらじゃ」では、今まで以上に、より多くの市民が参加できる祭りへと進化させるために、振興活動にも力を入れて参ります。

最後になりますが、岡山のまちを愛する市民を一人でも多く創出していけるよう全力で取り組んで参ります。特別会員の皆様をはじめ、メンバーの皆様におかれましてはより一層のご支援、ご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2011年 1月入会
後期：例会親睦委員会
2012年 総務・広報委員会 幹事
2013年 岡山J Cブランド確立委員会
2014年 渉外委員会 副委員長
2015年 総務委員会 理事委員長
2016年 専務理事



会員交流室

副理事長 **青木 浩平**

本年度、高見理事長のもと、副理事長の大役を仰せつかり、その責任の重さを強く感じております。高見理事長を支えるのはもちろんのこと、メンバー自らが積極的に活動の意味を見出せる交流の場を創出して行きます。

明るい豊かな社会の実現には、人と人が強固に繋がり、真剣にお互いに思いを寄せ、醸成する強固な一体感に基づいた組織力が不可欠です。その組織力によって青年会議所運動の効果が最大限に発揮されることに繋がり、まちからの信頼の根幹となっています。

この人と人との強固な繋がりを、築き永続させて行くために、会員が義務的に交流するのではなく、互いの成長を考え、思いやり、そして固定観念にとらわれることのない価値観を取り入れた、交流の場を提供して行きます。また、これからの時代のJ A Y C E Eの在り方をしっかりと見定め、誇りある高潔な団体の交流の在り方を構築して行きます。そのことにより、会員が時代を超越する友情を培い、その友情を源泉にした活動により、岡山青年会議所の信頼と価値を高めて参ります。

特別会員の皆様をはじめ、メンバーの皆様におかれましては、より一層のご指導ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2012年 前期入会
後期：渉外・交流委員会
2013年 渉外委員会 幹事
2014年 まちづくり委員会 幹事
2015年 総務委員会 副委員長
2016年 総務委員会 理事委員長

〔4〕専務理事・常任理事方針



2010年 7月入会
2011年 会員研修委員会
2012年 例会・親睦委員会 幹事
2013年 まちづくり委員会 副委員長
2014年 会員研修委員会 幹事
2015年 広報・渉外委員会 理事委員長
2016年 副理事長

総務室

専務理事 **野上昌範**

本年度、高見理事長のご指名により専務理事という大役を仰せつかり、その役割と責務の重さを強く感じております。専務理事として、高見理事長をはじめ、副理事長をしっかりとお支えし、総務室磯島常任理事と例会委員会 藤井委員長、総務・広報委員会 金沢委員長と共に岡山青年会議所67年の歴史と伝統を受け継ぎ、責任ある活動に全力で取り組んで参ります。

岡山青年会議所は現代にいたるまで、諸先輩方より脈々と受け継いできた「おもてなし」の精神と「礼儀礼節」を弁へ、時代と共に進化をしてきました。総務室ではその心髄に拘り、常に新しい時代に即した組織へと進化をさせるべく、未来を見据えた知識・見識・胆識が必要になります。公益社団法人として地域からより必要とされる団体になる為に、厳格な組織運営をおこない透明性と公平性を保ち、既成願念に捉われることなく時代に即した新たな手法を検討し、社会や市民からより共感と共鳴を得られる活動を確立して参ります。

最後になりましたが、これまで諸先輩方から教えていただいた事を活かし邁進して参ります。特別会員、現役会員の皆様には、より一層のご指導とご協力を賜りますよう心よりよろしくお願い申し上げます。



2012年 前期入会
後期 例会・親睦委員会
2013年 渉外委員会
2014年 総務委員会 幹事
2015年 会員拡大特別委員会 副委員長
2016年 まちづくり委員会 理事委員長

会員交流室

常任理事 **木村治貴**

本年度、高見理事長よりご指名いただき、会員交流室常任理事という大任を拝することとなり、その重責を担うこと、身の引き締まる思いを強く感じております。高見理事長はもとより、青木副理事長にご指導いただきながら、柴田委員長率います渉外委員会と仲村委員長率います交流推進委員会と思慮を巡らし、LOMの内外を問わず人と人との繋がりを醸成するための活動をして参ります。

郷土おかやまの為に活動をする、岡山青年会議所の可能性を高めるため、人と人の繋がりを醸成し、多くの諸先輩方から脈々と受け継いできた財産である岡山青年会議所の誇るべきおもてなしの精神、礼儀礼節を重んじ、人と人の親交を深める場を創出すると同時に、自分自身の糧となる気づきや学びのある空間を創出します。

また、その繋がりをLOM内や郷土おかやまに留めることなく、地方や全国という場においても同様に、広い視野で新たな価値観や手法を学び、そして岡山青年会議所という団体の信頼と価値を高めるため、所作振舞いを意識し、積極的かつ能動的に活動して参ります。

最後になりますが、特別会員・現役会員の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻、ご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



2010年 7月入会
2011年 例会親睦委員会
2012年 総務広報委員会
2013年 総務委員会 幹事
2014年 拡大・広報委員会 副委員長
2015年 真にありたいまち・おかやま創生委員会 委員長
2016年 渉外委員会 副委員長

総務室

常任理事 **磯島慈海**

本年度、高見理事長より総務室常任理事の役職を仰せつかり、その役割と責務の重さを強く感じております。野上専務理事よりご指導をいただき、例会委員会 藤井委員長、総務・広報委員会 金沢委員長と共に岡山青年会議所の諸先輩方が紡いでこられた66年の歴史と伝統を継承して、各人が青年経済人として世に求められる行動を起こせるよう、責任をもって職務に取り組んで参ります。

本年度の総務室は規律と一体感を目標に、岡山青年会議所の誇る「おもてなし」の精神と「礼儀礼節」を型として、メンバー1人1人が何をすべきか意義や目的を伝え、そこから生まれる意欲を導いて、岡山青年会議所らしさを創出して参ります。そして、規律ある凛とした組織運営を行うためにも、LOMに関連する内外の情報を集約して、現状を把握し、精査して発信することでメンバーの行動指針の共有化を図り、更に、郷土の方々、行政、マスメディアへ岡山青年会議所らしさを最大限の魅力をもって伝えることで、社会から共感を獲得して、協力者と理解者の増加を実現して参ります。

最後になりましたが、郷土を支える皆様、特別会員の皆様、現役会員の皆様に於かれましては、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

〔5〕 委員長事業計画

ひとづくり室 会員研修委員会



委員長 岸 紘 史

2014年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2015年 会員拡大特別委員会 委員
2016年 まちづくり委員会 副委員長

日本は、戦後71年を経て急激な経済発展を遂げてきました。インターネットの普及と共に社会人となった我々青年は、加速度的に圧縮された時間軸の中、個人の仕事上の資質は向上している反面、コミュニケーション不足による対面での誠心が損なわれてきています。岡山青年会議所の会員研修委員会として日本人の誠心である礼儀礼節はもとより、受け継がれてきたおもてなしの精神を伝え、自律したリーダーを育成していくことが重要であると考えます。

本年度の会員研修委員会では、青年経済人として必要不可欠な礼儀礼節を身につけるために、新会員勉強会を実施いたします。岡山青年会議所のリーダーを務められた先輩のお話を聞くことで、岡山青年会議所のリーダーシップとおもてなしの精神を、緊張感をもって学んでいただきます。最初のプログラムとして3分間スピーチを実施し、自分自身と向き合うことで、自己開示を促し自己成長ビジョンの確立を明確なものにします。そして、困難に対し新会員同士で挑むことで、同期の絆を深め、達成感と感動を経験していただきます。最後に研修の集大成として、L O Mサービス事業の計画・運営を通じて、岡山青年会議所の事業の目的や仕組み、おもてなしの精神を学び、自律したリーダーへの変貌と共に仲間との絆を築いていただきます。

研修プログラムだけではなく、日本青年会議所や中国地区協議会、岡山ブロック協議会の行う事業にも積極的に参加することで、様々な出会いを通じて多くを学んでいただきます。また、L O Mの行うすべての事業にも積極的に参加を促し、会員同士の繋がりのみならず、市民や特別会員とも深くかかわっていることを知っていただきます。

参加することの目的や意義を明確にし、新会員同士が与えられた修練の中、多くの時間を共有し乗り越えることで、友情と学び、成長を得られるひとづくりを目指して参ります。そしてこのひとづくりの活動が、会員拡大にも直結することを常に意識して、郷土おかやまに岡山青年会議所の存在意義を証明できる人材の育成に努めて参ります。

ひとづくり室 リソース向上委員会



委員長 古 市 聖一郎

2014年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2015年 総務委員会 委員
2016年 渉外委員会 副委員長

岡山青年会議所の中核を担ってこられた歴の長い方々が、数多くご卒業されていく今こそ、脈々と受け継がれてきた「ひとづくり」の文化を未来に継承しなければいけません。単なる懇親を図る会でもボランティアをする団体でもない、所属することで自己成長が出来、人間の成長によって私たちのまちが活性化し、それが出来る唯一の団体であることに誇りを持ち、会員拡大活動を展開いたします。

会員拡大については自委員会として前期7名、後期7名、そして他委員会の拡大目標の合計である前期14名、後期14名の達成という目標を持ち、取り組んで参ります。拡大の方法については現役会員、そして特別会員の皆様にご紹介いただき、拡大リストを作成し、その企業や人に対して1件1件足を使って訪問をしていく、そして岡山青年会議所の魅力を伝えていくという地道な方法で取り組みます。ツールとして青年会議所の魅力が伝わるパンフレットの作成、また岡山の情報誌やSNSなどのWEBメディアを活用し、常日頃から岡山青年会議所の活動や現役会員の情報を拡大対象者の目に触れるようにし、訪問の際に興味を持っていただけるようにいたします。

新たな接点の創出のためには、経営者やリーダーとしての成長、そして会社の成長につながるセミナーを主催し、受講して終わるのではなく、我々現役会員と拡大対象者がしっかりと話し合いの出来る場を設営します。またより気軽な出会いの場として、堅苦しくない懇親の場を数多く設営することで、心を砕いた対話の中から岡山青年会議所の魅力を伝え入会を促します。

また、現役会員が憧れられる存在になることも会員拡大には不可欠です。中身だけではなく、見た目も含め、会員ひとりひとりが輝ける存在になれるよう、年間を通じて啓蒙活動をして参ります。

会員数が増加傾向にある今、決して気を緩めず拡大活動を行い、更なる岡山青年会議所の発展に貢献いたします。委員会メンバーはその活動を通じて、あるべき岡山青年会議所の姿を模索し、未来の青年会議所活動に活かしていきます。

まちづくり室 スケーラビリティ創造委員会



委員長 末長 一 範

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-渉外委員会 委員
2015年 広報渉外委員会 委員
2016年 岡山J Cの魅力発信委員会
副委員長

第2段階を迎えたアベノミクス。しかし相変わらず地方では明るい兆しが見られず、正念場を迎えています。世相でも金銭疑惑問題、データ改ざん問題など、暗いニュースが印象に残り、熊本地震をはじめ自然災害も頻発しています。世界ではテロなど、人々の心を不安にさせる事象が多発しています。

この不安定な世の中で、愛郷おかやまでやらなければならないことは何でしょうか？今こそ岡山青年会議所がその枠を超えスケーラビリティを意識しながら、行政、企業、他団体そして市民を巻き込み「健全で、共感を呼ぶ事業」の遂行が必要です。一つは「スポーツのまち、おかやま」。スポーツは、爽快感、達成感、連帯感の醸成に加え、現代病である生活習慣病予防、ストレス発散など心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果を得られます。ここ10年で、岡山のスポーツ事情は大きく変化しました。現在岡山には多くのスポーツ団体が存在し、岡山マラソンも開催され、市民のスポーツに対する関心は高まりを見せています。そこで行政を巻き込んだ展開の図れる私たちがスポーツ団体と協同し、事業を開催します。子どもたちや市民がスポーツに触れ合う機会を創出することで、心身両面の健康を強化し、イキイキと健全に暮らせるまちづくりに繋がります。もう一つは「子どもみらいのまち、おかやま」。愛郷おかやまの未来に必要なことは、子どもたちの育成に他なりません。そこで、学校では学ぶことのできない機会創出事業を行います。企業、行政と協同し、社会の成り立ちを経験する機会創出事業は、子どもたちが将来の自分を意識し、成長するには、どうすれば良いかを知る機会となります。その機会は、きっと輝く未来のおかやまづくりに繋がります。これを事業としてしっかり確立することで、なるべく多くの子どもたちに、経験していただけるものへと昇華します。

この岡山青年会議所ならではの2事業の遂行により、毎日が明るく健全で、前向きに人生を送ることができるよう。そしておかやまで暮らすことの喜びを共感できるまちづくりを目指します。

まちづくり室 まちづくり委員会



委員長 正保 宏 倫

2014年 7月入会
後期-会員研修委員会 委員
2015年 真にありたいまちおかやま
創生委員会 委員
2016年 岡山の未来創造委員会
委員長

今日における日本情勢は、地方創生から一億総活躍社会の実現を目指し国民一人ひとりが輝けることができ、家庭や地域や職場で自分の力を発揮し生きがいを持てる社会の実現に取り組んでいます。しかし郷土おかやまに住み暮らす私達は、実現できているのでしょうか。国内でも多くの災害や不安な経済情勢の中、我々の住む郷土おかやまは災害も極めて少なく岡山の強みを活かして一人ひとりが輝き郷土おかやまを愛し誇りに思うまちへとわれわれ岡山青年会議所が先陣を切ってまちづくりを邁進します。

今年度、24回目を迎えるうらじゃは、今では、多くの市民を巻き込み岡山を代表する祭りとなっています。うらじゃをきっかけに先輩方が「共生と融和」をテーマに携わるすべての人が郷土愛や人と人の繋がりを大切にする心を育み「まちのために行動を起こせる人」「感謝と思いやりを持てる人」「岡山人」の育成に寄与していくことを目的とし、国的にも知名度を上げ観光資源として多くの観光客を呼び込み地域の活性化につなげる様、今一度市民や行政、マスコミ、そして諸団体が一つに成り今まで以上にまちに愛され誇りに感じられるようこだわって関わります。運営に携わるのはもとより、振興活動にも力を入れ、ひとりでも多くの人にうらじゃを知っていただきうらじゃを通してまちの魅力を市民に伝え未知の可能性のある郷土岡山を自らの手で創り上げ行動をおこせる人に成る様共に成長を遂げるよう努めていきます。そして我々だけが考えるのではなく、住み暮らす人々が、郷土おかやまの発展の為に考え、自ら変化を生み出し行動できる「岡山人」を育成する活動をして参ります。

まちづくり委員会は、市民意識変革団体の一員として、多くの市民と行政や諸団体とのつなぎ役や取り纏め役として活動を進めることで、それぞれが活動するのではなくマスメディア等を活用して幅広く伝えていく手法も検討し、過去にとらわれず斬新な発想と悦敏な手法を取り入れ、誇りに想えるまち郷土おかやまの構築に向け一年間まちの為、市民の為に全力で突き進みます。

会員交流室 渉外委員会



委員長 柴田 収

インターネットの普及によって世界は小さくなり、容易に地域や国境の枠を超えて、情報を得たり他者と交流をしたり出来るようになりました。しかしながら、現地に足を運んで直接見聞きし、顔を突き合わせることで初めてわかることも多々あります。私たち渉外委員会は、L O Mや地域、さらには国境を越えた活動や交流を支援することで、メンバーが多種多様な価値観や考え方を学び成長することを目指します。

本年度は、公益社団法人日本青年会議所地区協議会へ佐野会長をはじめとする多くの方が出向をされます。渉外委員会においては、出向者の方々のご支援させていただくとともに、地区事務局の運営にご協力させていただきます。中国地区5ブロック54 L O Mとの連絡調整及び対応を迅速に行うことにより、中国地区協議会の運営を円滑にすすめるとともに、出向者が他L O Mと交流することで、多くの学びを得る一助とします。

スポンサーL O Mや友好L O Mとの交歓会においては、交歓会の設営をする立場ではおもてなしの心を持って入念な準備を行います。歓待を受ける立場では礼儀礼節を重んじて感謝の気持ちを持ちます。これにより主客一体の精神と青年経済人に相応しい高潔な所作を身につけます。特に設営をする立場では、席次を役職や年齢、出向先等を踏まえて、同席者が多くの共通の話題を持って交流し、多くの学びが得られるよう工夫を凝らします。また、地域同士の交流と交歓会の歴史を紐解き、L O M同士の友情が今後も永続するようなテーマを持って設営をいたします。

A S P A C、J C I世界会議では、しっかりと現地調査と準備を行い、当地においてどのような学びの機会があるのかをメンバーに伝え、関心を持っていただくことで、参加の推進につなげます。

これらの取り組みを行うことで、岡山青年会議所のメンバーが、地域の枠を超えて友情を育み多くのことを学んで成長し、その経験をL O Mに持ち帰ることで、郷土おかやまがさらなる発展をするものと確信いたします。

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-渉外委員会 委員
2015年 会員拡大特別委員会 委員
2016年 総務委員会 副委員長

会員交流室 交流推進委員会



委員長 仲村 陽平

私たちは皆、大切な青年期をこの岡山青年会議所で過ごす決心をした同志です。しかしながら、我々の貴重な時間はSNSの加速度的な進化に翻弄され続けています。SNSを多用することは一見コミュニケーションが濃密になったように感じる反面、実際には薄いコミュニケーションの繰り返しを中心となっています。やはり、ここに集まる同志の多くが体感したように、岡山青年会議所の醍醐味である膝と膝を突き合わせて語らう時間の共有がいかに素晴らしく、より濃密な「ひと」と「ひと」の絆を結びつけるのかを我々は知っています。

貴重な時間を削って事業に参加したメンバーに心地よく有意義な空間や時間を提供し、「あの時、参加して本当によかった」と10年先でも語り継がれることを念頭に企画・運営を行ってまいります。また、その在り方そのものが周囲から見ても高潔で毅然とした所作を絶えず意識した団体を目指すために交流推進委員会一同が一枚岩となり事業を推進してまいります。始めよければ終わりよしと言われる様に一年の初めを占う新年賀詞交換会では歴代理事長をはじめとされる多くの特別会員の皆様、そして同じ志をもった各地会員会議所の皆さまにお越しいただき、良き緊張感の中で一年の結束力を高め合う会を目指します。また、出向者を支援する出向者支援ナイトではL O Mを代表する出向者の支援や激励を第一に考え出向者の皆様にもL O Mを代表しているという責任と自覚を持っていただき、参加して頂いたメンバーにも出向先の活動内容を理解して頂ける設営を提供いたします。そして今年ご卒業される昭和52年生まれの追い出し旅行では記憶に残る一日を演出できるように特別会員そして現役メンバーで心地よく送り出すことを目標にしてまいります。

私たちは全てのことに意味を見出す積極性をもって能動的に「おもてなしの精神」のもとに各事業を考え抜きやり切ります。そして、岡山青年会議所で過ごしたこのかけがえのない濃密な一年を振り返った時に出てくる言葉や溢れでる想いを糧に、岡山青年会議所を誇り高き高潔な団体へと昇華させます。

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-総務委員会 委員
2015年 真にありたいまちおかやま
創生委員会 幹事
2016年 会員研修委員会 副委員長

総務室 例会委員会



委員長 藤井大温

如何なることも指先で済んでしまう世の中ではありますが人の心を動かすにはいつの時代も会って目を合わせ話すことが最も有効的ではないでしょうか。だからこそ我々は例会という機会を通して忙しいながらも時間を工面し、会える場所を提供する。そして、その場所が完璧にしつらえてあり出席する意義がある唯一無二の真に価値ある例会設営を目的として活動してまいります。

我々は今まで先輩方から教えていただいた、岡山青年会議所の誇る「おもてなし」「礼儀礼節」を基本としメンバー同士が同じ目標、同じ志をもって若人らしい運営をしていきます。さらには時の流れが速くなった現代だからこそ、それに合わせて進化のスピードを速めていく必要があります。各委員会がバラバラで動くのではなく、お互いの行っていることを今まで以上に理解を深め、LOMメンバーが共通意識を持てるような心に残る、進んで参加したくなるような例会設営をしてまいります。また先輩方や他のLOMにお越しいただき開催する例会では岡山青年会議所らしい規則正しく緊張感のある例会を行うことで統率感を出し、我々が動けば岡山をもっと元気に、もっと盛り上げることが出来ると期待感が持てるようにしていきます。そんな期待感を少しでもメンバーや先輩方に感じてもらうことにより私たちの仲間を一人でも多く作り、賛同者を増やすことにより活動の範囲を少しでも増やせるようにして参ります。企画例会ではワクワクする今までにない新しい企画を実施し参加率の向上を狙います。さらに懇親会では会員同士が志をすり合わせることの出来る和やかで会話の弾む場の提供を実施し、互いの絆がより深まる場を提供して参ります。

如何なる時代においても変革は必要であり並々ならぬ熱が必要となります。委員会メンバーとともに基本を押さえたうえで進化すべく郷土岡山の為に胸を張って活動できる唯一無二の団体として岡山青年会議所メンバーが集う例会を設営してまいります。岡山青年会議所の価値を高めそこに英知と勇氣と情熱を注ぎこむことにより、今まで以上に例会を活気あるものにし本年度100%例会を達成することを宣言いたします。

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-広報・拡大委員会
委員
2015年 広報渉外委員会 幹事
2016年 岡山JICの魅力発信委員会
副委員長

総務室 総務・広報委員会



委員長 金沢竜志

景気の低迷、人口減少に少子高齢化、経済のグローバル化などにより、昨今の岡山青年会議所を取り巻く環境は大きく変化しております。そのような中で、我が郷土「おかやま」にとって、もっとも存在意義があり、地域から常に必要とされる団体であり続けるために、会員一人一人が明確なビジョンをもって、己を高め、そして未来を見据えて秩序を正し、時代に即した組織運営を展開してまいります。

本年度の総務・広報委員会の最大の軸は、「規律ある凛とした組織運営」です。一般企業と同様にガバナンスの効いた、適材適所を念頭に組織化を図り、運営いたします。まずは、事業計画書や事業報告書のフォーマットを、様々な観点から見直しを図り、公益社団法人として恥じない、そして未来に引き継げるものにしてまいります。次に、LOMメンバー全員との情報の共有化を徹底いたします。委員長連絡会議や事業を通して、横の繋がりを強固にするとともに、LOMに関連する内外の情報を集約し、共有することで、常に連携がとれた組織にしてまいります。そして、コンプライアンスの遵守を徹底し、個人情報の管理、並びに管理データの見直しを図り、行政や特別会員への広報活動に結びつけてまいります。広報誌「暖流」の発行では、内容の精査や、タイムリーな情報発信はもちろんのことながら、ホームページやSNS等を活用し、事業費、並びにマンパワーが削減ができるよう、配信のデジタル化への礎を構築し、岡山青年会議所のブランディングを推し進めてまいります。また、行政や各報道機関へは、定期的に懇親会や情報交換会などを企画し、我々の多岐に渡っての活動を、市民の皆さまに共感いただき、更なる協力者と理解者を増加させるために、マスメディアとの親密な関係構築に尽力してまいります。

結びに、透明性や公平性を保った厳格な組織運営を常に意識し、セオリーに捉われることなく互いを尊重し、一人一人が未来を見据えた知識、見識、胆識をもって、岡山青年会議所の心髄を追求し、価値を高める活動を積極的に実践してまいります。

2014年 1月入会
前期-会員研修委員会 委員
後期-総務委員会 委員
2015年 会員研修委員会 幹事
2016年 渉外委員会 副委員長

〔6〕 監事抱負



監事 岡部 憲一郎

2017年度、公益社団法人岡山青年会議所の監事のご指名を頂き、その重責を強く感じております。伝統と歴史ある岡山青年会議所の監事として責任と自覚を持ち、臨んで参る所存でございます。

ここ数年、L O M全体で行う会員拡大の活動が実を結び、まだまだ足りない状態ではございますが会員数が増加傾向にあります。その一方で岡山青年会議所の約半数の会員が入会して3年未満である状態になっております。その中で岡山青年会議所の不易と流行を意識し、また青年会議所運動の本質をしっかりと見極め、会員全員にそれを伝え、今の時代に即した青年会議所運動を行っていただけるよう監査して参ります。

また、監査だけでなく、高見理事長が想われる岡山青年会議所の事業や活動を理解し、監事という立場から、全ての事業と活動に対し、これまでの様々な方から学び得た事や先輩方よりご教授頂いた事を会員にお伝えしていき、2017年度の岡山青年会議所の運営に携わって参ります。

最後になりますが、自らの修練の場としても誠心誠意職務を全うして参る所存でございますので、敬愛する先輩諸兄ならびにメンバーの皆様におかれましては、一年間、ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2010年 7月入会
2011年 ローカル・アクティビティ委員会
2012年 渉外交流委員会 幹事
2013年 総務委員会 副委員長
2014年 まちづくり委員会 副委員長
2015年 まちづくり委員会 理事委員長
2016年 常任理事



監事 久松 朋史

2017年度、高見理事長より公益社団法人岡山青年会議所の監事のご指名をいただき、その重責を強く感じております。歴史と伝統ある岡山青年会議所の監事としての職を全うする所存でございます。

岡山青年会議所は、67年目を迎えます。連綿と受け継がれてきたこの団体は、特別会員の皆様、関係各位の積み重ねて来られた継承と進化の上に成り立っていると感じております。公益社団法人格を有する団体として公益性が高く時代に即した運動が出来ているか、そして会員の増加に伴い更なる継承と進化が求められている組織自体のあり方について、しっかりと監査をしてまいります。

また、監査だけではなく、高見理事長の基本理念、基本方針に則った事業を展開し、14年の間に諸先輩方から学んできたこと、経験してきたことをしっかりと伝え、未来に向けて更に発展するための礎となるための発言や行動をしてまいります。

最後になりますが、15年の青年会議所活動の最終年として、もう一度初心に立ち戻り、全てを修練と捉え、全力で活動してまいります。敬愛する先輩諸兄ならびに現役メンバーの皆様におかれましては、一年間ご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

2003年 1月入会
後期：渉外委員会
2004年 日本J C 渉外委員会 幹事
2005年 会員研修委員会
2006年 日本J C 渉外委員会
2007年 メディアコミュニケーション委員会
2008年 岡山人育成委員会 副委員長
2009年 日本J C 渉外委員会 副委員長
2010年 総務委員会 理事委員長
2011年 副理事長
2012年 専務理事
2013年 副理事長
2014年 副理事長兼会員研修委員会委員長
2015年 理事長
2016年 直前理事長

〔7〕公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 委員会職務分掌

【会員研修委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・変革の時代に相応しい手法による新会員研修のあり方の模索、実践
- ・青年経済人としての礼儀・マナーの研修
- ・JCIクリード、JCI MISSION、JCI VISION、JC宣言・綱領、岡山JC三信条及び長期ビジョンの啓蒙
- ・講師委員会の開催
- ・3分間スピーチの実施
- ・団結して困難に挑み、切磋琢磨しながら一つのことを為すことにより、青年経済人としての絆を醸成するプログラムを実施
- ・LOMサービス事業を通しての研修
- ・コミュニティープラザの開催
- ・他委員会の委員会訪問の実施
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第24回「うらじゃ」への支援・協力
- ・長期ビジョンの中間検証

【リソース向上委員会】

- ・会員拡大「後期新会員5名、前期新会員5名の獲得」
- ・他委員会の拡大活動目標達成のための支援
- ・会員拡大に向けて岡山市内の各企業・事業所への訪問
- ・委員長連絡会議、拡大会議の設営・開催
- ・入会予定者へのオリエンテーションの開催と面接の段取り
- ・岡山青年会議所の魅力を伝えるパンフレット作成
- ・岡山の情報誌やSNSなどのWEBメディアを使った情報発信
- ・ビジネスセミナー企画・設営・実施
- ・経営座談会の企画・設営・実施
- ・会員ひとりひとりが輝く存在になるための啓蒙活動
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力

- ・第24回「うらじゃ」への支援・協力
- ・長期ビジョンの中間検証

【スケーラビリティ創造委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・行政・各種他団体と共同で開催する、健全で、共感を呼ぶ事業の企画・実施
- ・誇りに想えるまち「おかやま」を創造する事業の企画・実施
- ・緊急災害時における対応
- ・おかやま桃太郎まつりへの支援・協力
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第24回「うらじゃ」への支援・協力
- ・長期ビジョンの中間検証

【まちづくり委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・うらじゃ開催支援広告募集事業の企画・実施
- ・うらじゃ振興活動の企画・実施
- ・行政情報交換会の企画・実施
- ・第24回「うらじゃ」実行委員会への参画
- ・うらじゃ振興会への参画
- ・おかやま桃太郎まつりへの協力・支援
- ・LOM開催事業への積極的参加と協力
- ・日本JC、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力
- ・長期ビジョンの中間検証

【渉外委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・中国地区協議会会長及び中国地区協議会事務局運営の補佐
- ・日本JC、中国地区協議会への連絡調整及び対応
- ・中国地区コンファレンスの連絡調整及び対応
- ・スポンサーLOM・友好LOMとの連絡調整及び交歓会等の企画・設営・実施
- ・ASPAC、世界会議への積極的参加を促す

手法の検討・構築及び参加の取り纏め

- ・スマイルの実施
- ・L O M開催事業への積極的参加と協力
- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第24回「うらじゃ」への支援・協力
- ・長期ビジョンの中間検証

【交流推進委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・岡山ブロック協議会への連絡調整及び対応
- ・特別会員、現役会員合同新年賀詞交換会の企画・設営・実施
- ・出向者支援ナイトの企画・設営・実施（京都会議）
- ・L O Mナイトの企画・設営・実施（サマーコンファレンス（横浜）・全国大会（埼玉））
- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会出向者支援、慰労ナイトの設営
- ・昭和52年生まれ卒業追い出し旅行の企画・設営・実施
- ・L O M開催事業への積極的参加と協力
- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第24回「うらじゃ」への支援・協力
- ・長期ビジョンの中間検証

【例会委員会】

- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・例会の企画・設営・実施
- ・岡山ブロック協議会会長公式訪問例会の企画・設営・実施
- ・特別会員・現役会員合同例会の企画・設営・実施
- ・100%出席する例会開催の模索・検討及び実施
- ・L O M開催事業への積極的参加と協力
- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第24回「うらじゃ」への支援・協力
- ・長期ビジョンの中間検証

【総務・広報委員会】

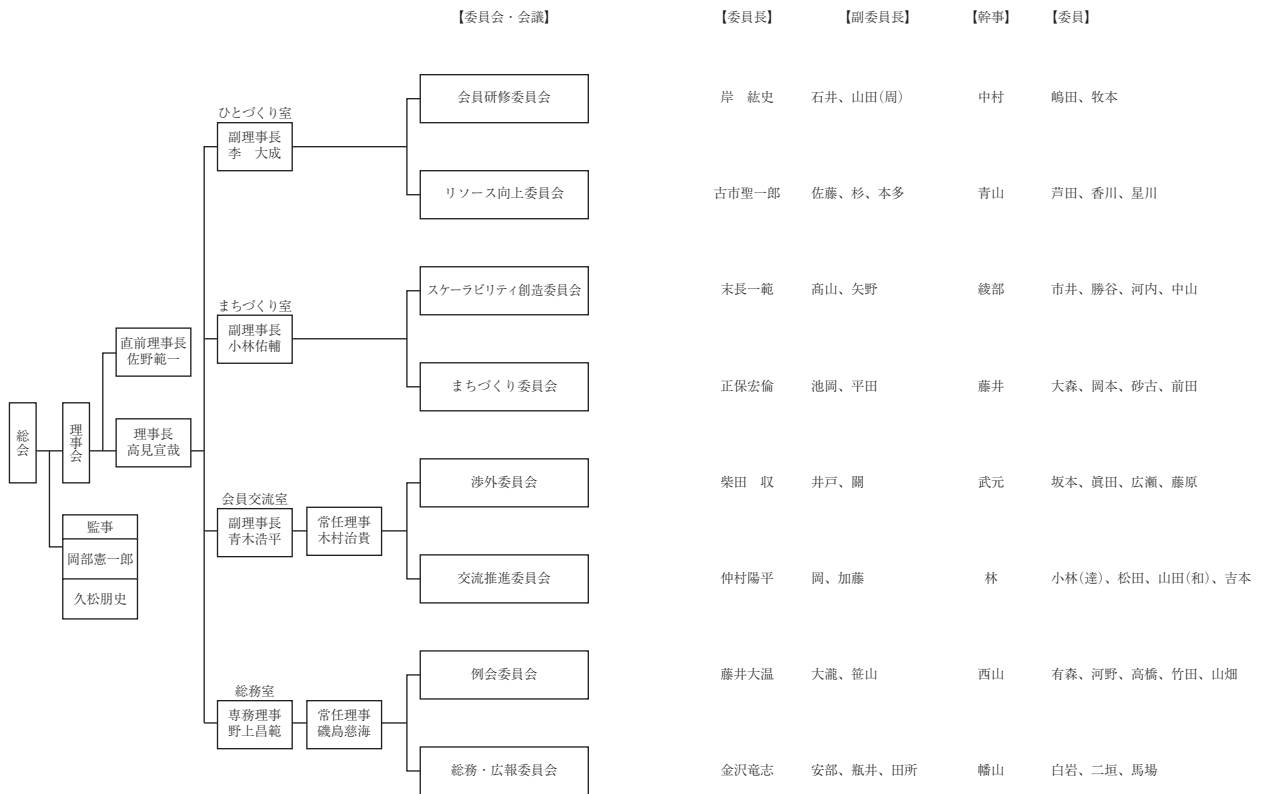
- ・会員拡大「後期新会員2名・前期新会員2名の獲得」
- ・適正な公益法人会計の実施
- ・会計経理事務並びに慶弔関係事務の実施、庶務規則に沿った事務局運営
- ・総会、執行部会議、理事会の設営・運営と議事録並びに会議録の作成・管理
- ・各委員会事業計画、収支予算並びに事業報告、収支決算の内容精査と各会議への上程資料精査
- ・議案上程方法の見直しとデジタル会議運営の推進
- ・事業計画書、事業報告書のフォーマットの見直しと精度向上
- ・収支予算書、収支決算書の作成並びに修正予算、中間決算の実施
- ・2017年度基本資料、事業報告書、会員手帳の作成並びに追加
- ・L O M年間スケジュールの作成・確認
- ・理事長公職の整理・調整
- ・定款並びに諸規定、諸規則の見直し・検討
- ・個人情報の管理並びに管理データの見直し、コンプライアンス遵守の確認
- ・理事合宿、理事委員長予定者セミナー、副委員長・幹事セミナーの企画・設営・開催
- ・シニアクラブ総会、世話人会、歴代理事長会議の設営・開催
- ・日本J C、日中友好の会への入会促進
- ・J C C Sへの登録促進
- ・J Cルーム、倉庫内の備品発注並びに管理
- ・情報公開の精査と実施
- ・事業報告書のデータ保存・管理
- ・対内、対外的な広報の見直し並びに検討
- ・広報誌「暖流」の発行並びにホームページやSNS等を活用した配信方法の検討
- ・岡山J Cホームページの作成・運用
- ・SNSを活用した広報活動の検討・実施
- ・報道機関への対応並びに記者会見、懇親会の検討・開催
- ・L O M開催事業への積極的参加と協力
- ・日本J C、中国地区協議会、岡山ブロック協議会への積極的参加と出向者への支援協力
- ・第24回「うらじゃ」への支援・協力
- ・長期ビジョンの中間検証

〔8〕公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 年間公式スケジュール表

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
岡山青年会議所	例会	13日(金)例会① バッジ授与式	8日(水)例会② 3分間スピーチ コミュニティ	1日(水)第一例会③ 総会① スマイル 22日(水)第二例会④ ブロック会長公式訪 問例会	12日(水)例会⑤ 企画例会	10日(水)例会⑥	14日(水)例会⑦ コミュニティ スマイル
	執行部会議	10日(火)第1回 執行部・理事合同会議	7日(火)第2回	14日(火)第3回	11日(火)第4回	9日(火)第5回 30日(火)第6回	27日(火)第7回
	理事会	1日(金)新年理事会 10日(火)第1回 執行部・理事合同会議	21日(火)第2回	21日(火)第3回	18日(火)第4回	16日(火)第5回	6日(火)第6回
	総務委員会	2016年12月26日(月)第1回 31日(火)第2回		7日(火)第3回	4日(火)第4回	2日(火)第5回 23日(火)第6回	20日(火)第7回
	行事	10日(火) 新年挨拶回り 11日(水) 倉敷JC新年互礼会 (倉敷) 13日(金) 岡山JC新年賀詞交換 会 19日(木)~22日(日) 京都会議	6日(月) 歴代理事長会議	日() 会頭公式訪問 18日(土) 新会員研修会(岡山)	30日(日) ブロック懇親野球大 会(津山)	11日(木) ブロックじゃがいも 大会(高梁) 日() 大阪JC交流会(大阪)	4日(日) 津山60周年 8日(木)~11日(日) ASPAC モンゴル(ウランバ ートル) 18日(日) 親睦事業 25日(日) 岡山ブロック大会 (玉島)
岡山ブロック協議会	役員会議	14日(土)岡山 25日(水)倉敷	10日(金)笠岡 25日(土)井原	11日(土)玉野 31日(金)児島	8日(土)美作 28日(金)津山	6日(土)真庭 27日(土)新見	3日(土)備前 24日(土)玉島
	会員会議所会議	25日(水)倉敷	25日(土)井原	31日(金)児島	28日(金)津山	27日(土)新見	25日(日)玉島
	公式訪問		14日(火) 総社・高梁(総社)	14日(火) 倉敷・児島・玉島(児島) 日() 井原・笠岡(笠岡) 22日(水)岡山	日() 西大寺・備前・玉野 (西大寺) 日() 津山・真庭・新見・美作(津山)		
	事業			18日(土) 新会員研修会(岡山)			25日(日) 岡山ブロック大会 (玉島)
	周年				16日(日) 笠岡60周年		4日(日) 津山60周年
	その他	6日(金) 新年挨拶回り(岡山) 11日(水) 倉敷JC新年互礼会(倉敷) 13日(金) 岡山JC新年賀詞交換会(岡山)				30日(日) ブロック懇親野球大 会(津山)	11日(木) ブロックじゃがいも 大会(高梁)
中国地区協議会	正副会議	7日(土)岡山	4日(土)広島	4日(土)長門	1日(土)米子	6日(土)児島	2日(金)出雲
	財政審査会議	7日(土)岡山	4日(土)広島	4日(土)長門	1日(土)米子	6日(土)児島	2日(金)出雲
	役員会議	19日(木)京都	24日(金)総社	17日(金)三次	15日(土)柳井	20日(土)安来	23日(金)東伯
	会員会議所会議	20日(金)京都					
	事業						
	周年行事				16日(日) 笠岡60周年 23日(日) 平田50周年	13日(土) 尾道60周年	3日(土) 萩60周年 4日(日) 津山60周年
	ブロック事業						
その他	20日(金) 地区ナイト(京都)	7日(火) 北方領土の日 22日(水) 竹島の日					
日本青年会議所	正副会頭会議	11日(水)	2日(木) 14日(火)	2日(木) 8日(水)	6日(木) 20日(木)	2日(火) 11日(木)	1日(木) 15日(木) 30日(金)
	常任理事会	12日(木)	15日(水)	9日(木)	21日(金)	12日(金)	16日(金)
	理事会	20日(金)京都	16日(木)	10日(金)	22日(土)	13日(土)	17日(土)
	ブロック会長会議	20日(金)京都	16日(木)	10日(金)	22日(土)	13日(土)	17日(土)
	総会	21日(土)京都		25日(土)東京			
	JCI諸会議	9日(月)~15日(日) JCI常任理事会/理 事会 (JCI JEM/JBM) アメリカ(セントル イス)				3日(水)~6日(土) アフリカ・中東地域会議 チュニジア(スース) 17日(木)~20日(土) アメリカ地域会議 ドミニカ(プンタ・カナ) 24日(水)~27日(土) ヨーロッパ地域会議 スイス(バーゼル)	8日(木)~11日(日) アジア・太平洋地域 会議 モンゴル(ウラン バートル)
	NOM主要事業	19日(木)~22日(日) 京都会議(京都)	17日(金)~19日(日) 金沢会議(金沢)				
	財政審査会議	7日(土)	11日(土)	4日(土)	15日(土)	6日(土)	10日(土)
	公益審査会議	8日(日)	12日(日)	5日(日)	16日(日)	7日(日)	11日(日)
	コンプライアンス審査会議	7日(土)	11日(土)	4日(土)	15日(土)	6日(土)	10日(土)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
岡山青年会議所	例会	5日(水)第一例会⑤ 総会② バッジ授与式 18日(火)第二例会⑨ 総会③ チャレンジスピーチ	9日(水)例会⑩ 総会④ 3分間スピーチ 理事選挙	6日(水)例会⑪ スマイル コミュニティ 21日(木)例会⑫ OB合同例会	11日(水)例会⑬	15日(水)例会⑭ スマイル 出向者報告	12日(火)第一例会⑮ さよなら例会 22日(金)第二例会⑯ 総会⑤
	執行部会議	18日(火)第8回 執行部・理事合同会議	1日(火)第9回 29日(火)第10回 執行部・理事合同会議	12日(火)第11回	10日(火)第12回	14日(火)第13回	5日(火)第14回 執行部・理事合同会議
	理事会	5日(水)第7回 18日(火)第8回 執行部・理事合同会議	8日(火)第9回 29日(火)第10回 執行部・理事合同会議	19日(火)第11回	17日(火)第12回	21日(火)第13回	5日(火)第14回 執行部・理事合同会議
	総務委員会	11日(火)第8回 25日(火)第9回	22日(火)第10回	5日(火)第11回	3日(火)第12回 31日(火)第13回	28日(火)第14回	
	行事	1日(土) 高梁45周年 8日(土) 玉野60周年 22日(土)～23日(日) サマーコンファレンス(横浜)	5日(土)～6日(日) 第24回うらじゃ 日()～日() 全国10LOMテニス大会() 20日(日) 備前50周年	8日(金)～9日(土) 地区コンファレンス(倉敷) 10日(日) 中国地区球技大会(備前) 日() 高松JC交歓会(岡山) 28日(木)～10月1日(日) 全国大会(埼玉) 日() 笠岡60周年	日() 津山JC交歓会(津山) 日() 広島JC交歓会(広島) 15日(日) 総社50周年	6日(月)～10日(金) JCI世界会議 オランダ(アムステルダム) 15日(水) 出向者慰労会 19日(日) 52年生祝い出し旅行 25日(土) 本今年度引き継ぎ式(岡山)	日() 倉敷JC交歓会(倉敷) 22日(金) クリスマス家族会(親睦事業)
岡山ブロック協議会	役員会議			2日(土)西大寺 16日(土)総社	14日(土)岡山 27日(金)岡山	16日(木)岡山 25日(土)岡山	
	会員会議所会議			16日(土)総社	27日(金)岡山	25日(土)岡山	
	公式訪問						
	事業					25日(土) 本今年度引き継ぎ式(岡山)	
	周年	1日(土) 高梁45周年 8日(土) 玉野60周年	20日(日) 備前50周年		15日(日) 総社50周年		
	その他						
中国地区協議会	正副会議	7日(土)岩国	10日(木)岡山	2日(土)広島	14日(土)長門	4日(土)米子	1日(金)
	財政審査会議	7日(土)岩国	10日(木)岡山	2日(土)広島	14日(土)長門	4日(土)米子	1日(金)
	役員会議	21日(金)横浜	25日(金)広島	8日(金)倉敷	28日(土)長門	24日(金)長門	2日(土)
	会員会議所会議	21日(金)横浜					2日(土)
	事業						
	周年行事	1日(土) 高梁45周年 8日(土) 玉野60周年 日() 三原55周年	19日(土) 東広島40周年 20日(日) 備前50周年 26日(土) 周南15周年	24日(日) 出雲60周年	1日(土) 松江60周年 15日(日) 総社50周年	11日(土) 呉65周年	
	ブロック事業						
	その他	21日(金) 地区ナイト(横浜)	日() JCカップ	8日(金)～9日(土) 中国地区コンファレンス(倉敷) 10日(日) 中国地区野球大会(備前)			
日本青年会議所	正副会頭会議	19日(水)		7日(木) 13日(水)	5日(木) 19日(木)	2日(木) 16日(木)	7日(木) 14日(木)
	常任理事会	20日(木)		14日(木)	20日(金)	17日(金)	15日(金)
	理事会	21日(金)横浜		15日(金) 29日(金)埼玉	21日(土)	18日(土)	16日(土)
	ブロック会長会議	21日(金)横浜		15日(金) 29日(金)埼玉	21日(土)	18日(土)	16日(土)
	総会			29日(金)埼玉			
	JCI諸会議	27日(木)～29日(土) JCI中間常任理事会(JCI MYE) アメリカ(セントルイス)	1日(火)～4日(金) グローバルパートナーシップサミット(GPS) アメリカ(ニューヨーク)			6日(月)～10日(金) JCI世界会議 オランダ(アムステルダム)	
	NOM主要事業	9日(日)～13日(木) 国際アカデミー(熊本) 22日(土)～23日(日) サマーコンファレンス(横浜)		28日(木)～10月1日(日) 全国大会(埼玉)			
	財政審査会議	15日(土)		9日(土)	14日(土)	11日(土)	9日(土)
	公益審査会議	16日(日)		10日(日)	15日(日)	12日(日)	10日(日)
	コンプライアンス審査会議	15日(土)		9日(土)	14日(土)	11日(土)	9日(土)

〔9〕公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 組織図



〔10〕 公益社団法人日本青年会議所 2017年度 出向者

総務グループ					
J Cブランディング会議	議長	李 大 成			
	統括幹事	本 多 高 明			
	委員	青 木 浩 平	委員	岡 部 憲一郎	
	委員	中 山 友 二	委員	二 垣 幸 広	
	委員	広 瀬 政 子	委員	牧 本 太 郎	
渉外委員会	直前会頭補佐	吉 本 昌 弘			
総務委員会	運営幹事	關 和 敏			
	委員	安 部 真 良	委員	加 藤 高 明	

〔11〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2017年度 出向者

会長	佐 野 範 一		
運営専務	木 村 治 貴		
事務局長	磯 島 慈 海		
副運営専務	柴 田 収		
事務局次長	關 和 敏	事務局次長	井 戸 啓 太
統括幹事	武 元 浩		
会長補佐	坂 本 雅 樹	会長補佐	眞 田 優 作
会長補佐	広 瀬 政 子		

〔12〕 公益社団法人日本青年会議所 中国地区岡山ブロック協議会 2017年度 出向者

	監査担当役員	久 松 朋 史
	監査担当役員幹事	岡 本 浩
総務委員長連絡会議	副委員長	岡 恭 弘
	委員	大 瀧 健 嗣
未来の豪傑増強委員会	副委員長	山 田 周 作
	委員	小 林 達 人
地域経済再興委員会	副委員長	石 井 聖 至
	委員	矢 野 大 輔
全うな日本人育成委員会	副委員長	瓶 井 潔 英
	委員	高 橋 雄 大

〔13〕 公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 理事長セクレタリー

チーフセクレタリー 高 山 晃 一 セクレタリー 松 田 龍乃輔 セクレタリー 山 畑 和 久

〔14〕 公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 役員選挙管理委員会 委嘱メンバー

委員長	岡 部 憲一郎	委員	嶋 田 昌 浩
副委員長	勝 谷 満	委員	砂 古 和 宏
幹事	香 川 陽 一	委員	中 山 友 二
委員	大 森 将 平	委員	松 田 龍乃輔

〔15〕 公益社団法人岡山青年会議所 収支予算書

2017年1月1日から2017年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①特定資産運用収入	10,000	10,000	0	
特定資産利息収入	10,000	10,000	0	
②受取入金収入	1,600,000	1,000,000	600,000	
受取入金収入	1,600,000	1,000,000	600,000	
③会費収入	18,540,000	15,970,000	2,570,000	
正会員会費収入	15,300,000	12,870,000	2,430,000	
特別会員会費収入	3,180,000	3,050,000	130,000	
特別会員積立金収入	60,000	50,000	10,000	
④事業収入	25,377,520	20,309,820	5,067,700	
登録料収入	12,003,000	10,309,500	1,693,500	
広告料収入	13,374,520	10,000,320	3,374,200	
⑤受取補助金等収入	200,000	0	200,000	
⑥受取負担金収入	0	0	0	
⑦受取寄付金収入	160,000	100,000	60,000	
受取寄付金収入	160,000	100,000	60,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑧雑収入	1,000	145,000	-144,000	
受取利息収入	1,000	1,000	0	
雑収入		144,000	-144,000	
事業活動収入計	45,888,520	37,534,820	8,353,700	
2. 事業活動支出	0	0	0	
①事業費支出	0	0	0	
事業費支出	0	0	0	
②管理費支出	43,953,945	35,315,064	8,638,881	
総務費支出	600,000	600,000	0	
事務所費支出	3,080,000	3,080,000	0	
会議費支出	0	0	0	
給料手当支出	1,300,000	1,300,000	0	
退職給付手当支出	0	0	0	
福利厚生費支出	0	0	0	
事務委託費支出	540,000	432,000	108,000	
旅費交通費支出	84,318	0	84,318	
通信費支出	1,083,857	1,222,941	-139,084	
印刷費支出	2,466,580	2,244,929	221,651	
消耗品支出	589,813	473,928	115,885	
会員費支出	1,100,000	1,100,000	0	
例会費支出	0	0	0	
広報費支出	0	0	0	
特別会員費支出	100,000	100,000	0	
修繕支出	0	0	0	
租税公課	400	0	400	
渉外費	400,000	500,000	-100,000	
J C I 渉外費	810,000	100,000	710,000	
備品購入支出	200,000	200,000	0	
雑支出	100,000	100,000	0	
賃借料	4,741,234	2,392,976	2,348,258	
保険料	64,400	47,200	17,200	
諸謝金	720,160	1,824,091	-1,103,931	
委託費	11,726,856	9,309,711	2,417,145	
助成金	13,346,920	9,981,000	3,365,920	
接待交際費	899,407	306,288	593,119	
③負担金支出	1,733,545	1,285,720	447,825	
加盟団体会費支出	1,733,545	1,285,720	447,825	
④他会計への繰入金支出	0	0	0	
他会計への繰入金支出	0	0	0	
事業活動支出計	45,687,490	36,600,784	9,086,706	
事業活動収支差額	201,030	934,036	-733,006	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
保証金戻り収入			0	
投資活動収入計			0	
2. 投資活動支出計			0	
①特定資産取得支出	0	0	0	
積立引当財産支出		0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
①借入金収入			0	
財務活動収入計			0	
2. 財務活動支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				
①借入金返済支出			0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出				

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書

2017年1月1日から2017年12月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	予算額 (公益)	予算額 (共益等)	前年度予算額	差額
一般正味財産増減の部					
経常収益					
基本財産運用益	10,000	10,000		10,000	0
基本財産受取利息	10,000	10,000		10,000	0
特定資産運用益					0
特定資産受取利息					0
受取入会金	1,600,000	800,000	800,000	1,000,000	600,000
受取入会金	1,600,000	800,000	800,000	1,000,000	600,000
受取会費	18,540,000	9,270,000	9,270,000	15,970,000	2,570,000
正会員受取会費	15,300,000	7,650,000	7,650,000	12,870,000	2,430,000
特別会員受取会費	3,180,000	1,590,000	1,590,000	3,050,000	130,000
特別会員積立金収入	60,000	30,000	30,000	50,000	10,000
事業収益	25,377,520	18,664,520	6,713,000	20,309,820	5,067,700
青少年育成事業収益	4,910,000	4,910,000	0	775,000	4,135,000
人材育成事業収益	380,000	380,000	0	2,025,000	-1,645,000
地域活性化事業収益	13,374,520	13,374,520	0	10,000,320	3,374,200
会員研修事業収益	6,713,000	0	6,713,000	7,509,500	-796,500
受取補助金等					
受取国庫補助金	200,000	200,000			200,000
受取負担金					
受取負担金					
受取負担金振替額					
受取寄付金	160,000	160,000		100,000	60,000
受取寄付金	160,000	160,000		100,000	60,000
募金収益					
受取寄付金振替額					
雑収益	1,000	500	500	145,000	-144,000
受取利息	1,000	500	500	1,000	0
有価証券運用益	0				0
雑収益	0			144,000	-144,000
経常収益計	45,888,520	28,905,020	16,783,500	37,534,820	8,353,700
経常費用					
事業費	39,179,293	30,170,678	9,008,615	31,306,964	7,872,329
給料手当	1,079,000	858,000	221,000	1,079,000	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
接待交際費	899,407	0	899,407	306,288	593,119
福利厚生費	0	0	0	0	0
旅費交通費	84,318	84,318	0	0	84,318
通信運搬費	981,857	700,528	281,329	1,120,941	-139,084
減価償却費	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	166,000	132,000	34,000	166,000	0
消耗品費	530,313	416,532	113,781	414,428	115,885
印刷製本費	2,282,028	1,947,696	334,332	2,108,929	173,099
燃料費	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	0	0	0	0
賃借料	7,297,634	6,063,481	1,234,153	4,949,376	2,348,258
保険料	64,400	64,400	0	47,200	17,200
諸謝費	720,160	720,160	0	1,824,091	-1,103,931
租税公課	400	0	400	0	400
支払負担金	0	0	0	0	0
支払助成金	13,346,920	13,346,920	0	9,981,000	3,365,920
支払寄付金	0	0	0	0	0
委託費	11,726,856	5,836,643	5,890,213	9,309,711	2,417,145
有価証券運用費	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0
管理費	6,508,197		6,508,197	5,293,820	1,214,377
給料手当	221,000		221,000	221,000	0
臨時雇賃金	0		0	0	0
接待交際費	0		0	0	0
福利厚生費	0		0	0	0
旅費交通費	0		0	0	0
通信運搬費	102,000		102,000	102,000	0
減価償却費	0		0	0	0
消耗什器備品費	34,000		34,000	34,000	0
消耗品費	59,500		59,500	59,500	0
印刷製本費	184,552		184,552	136,000	48,552
燃料費	0		0	0	0
光熱水料費	0		0	0	0
賃借料	523,600		523,600	523,600	0
保険料	0		0	0	0
諸謝費	0		0	0	0
租税公課	0		0	0	0
支払負担金	1,733,545		1,733,545	1,285,720	447,825
支払助成金	0		0	0	0
支払寄付金	0		0	0	0
委託費	2,340,000		2,340,000	2,232,000	108,000
有価証券運用費	0		0	0	0
雑費	1,310,000		1,310,000	700,000	610,000
経常費用計	45,687,490	30,170,678	15,516,812	36,600,784	9,086,706
当期経常増減額	201,030	-1,265,658	1,266,688	934,036	-733,006
当期一般正味財産増減	201,030	-1,265,658	1,266,688	934,036	-733,006
一般正味財産期首残高				48,835,684	0
一般正味財産期末残高				49,769,720	

公益目的事業比率	$\frac{30,170,678}{45,687,490}$	=	0.660
----------	---------------------------------	---	-------

公益社団法人岡山青年会議所 正味財産増減計算書内訳表

2017年1月1日から2017年12月31日まで

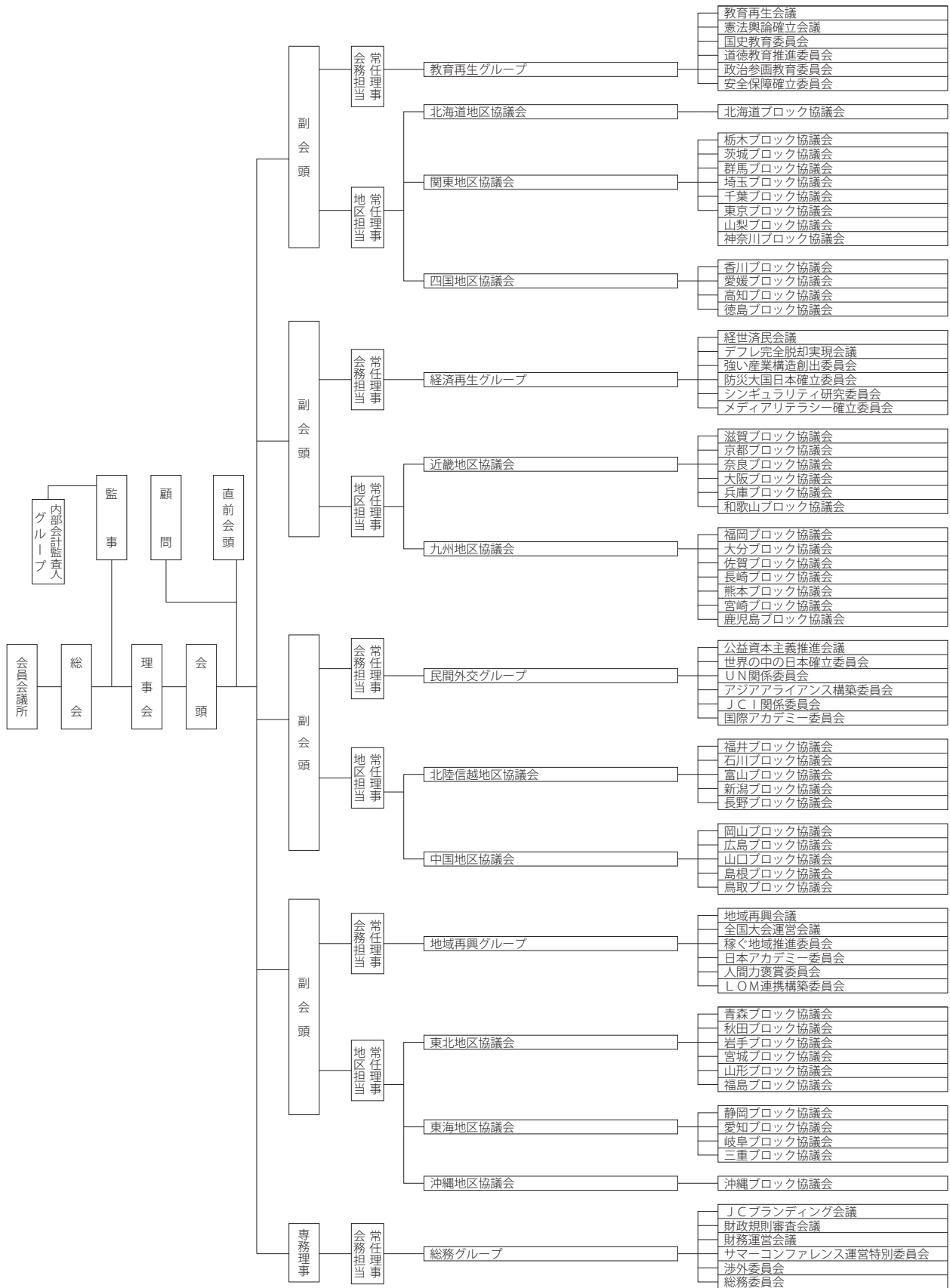
(単位：円)

科目	公益目的事業					収益事業等		法人会計	内部取引	合計
	公1	公2	公3	共通	小計	他1 会員研修	小計			
	青少年育成	人材育成	地域活性化							
一般正味財産増減の部										
経常収益					0					
基本財産運用益				10,000	10,000					10,000
基本財産受取利息				10,000	10,000					10,000
受取入金	0	0	0	800,000	800,000	400,000	400,000	400,000	0	1,600,000
受取入金				800,000	800,000	400,000	400,000	400,000		1,600,000
受取会費	0	0	0	9,270,000	9,270,000	4,635,000	4,635,000	4,635,000		18,540,000
正会員受取会費				7,650,000	7,650,000	3,825,000	3,825,000	3,825,000		15,300,000
特別会員受取会費				1,590,000	1,590,000	795,000	795,000	795,000		3,180,000
特別会員積立金収入				30,000	30,000	15,000	15,000	15,000		60,000
事業収益	4,910,000	380,000	13,374,520		18,664,520	6,713,000	6,713,000			25,377,520
青少年育成事業収益	4,910,000				4,910,000		0			4,910,000
人材育成事業収益		380,000			380,000		0			380,000
地域活性化事業収益			13,374,520		13,374,520		0			13,374,520
会員研修事業収益					0	6,713,000	6,713,000			6,713,000
受取補助金等	200,000	0	0		200,000					200,000
受取国庫補助金	200,000									0
受取負担金					0					0
受取負担金										0
受取負担金振替額										0
受取寄付金				160,000	160,000			0		160,000
受取寄付金				160,000	160,000					160,000
雑収益				500	500	250	250	250		1,000
受取利息				500	500	250	250	250		1,000
有価証券運用益										0
雑収益										0
経常収益計	5,110,000	380,000	13,374,520	10,240,500	29,105,020	11,748,250	11,748,250	5,035,250		45,888,520
経常費用										
事業費	9,947,043	1,367,558	18,856,477		30,171,078	9,008,215	9,008,215			39,179,293
給料手当	232,414	17,283	608,303		858,000	221,000	221,000			1,079,000
臨時雇賃金					0		0			0
接待交際費					0	899,407	899,407			899,407
福利厚生費					0		0			0
旅費交通費		84,318			84,318		0			84,318
通信運搬費	284,880	8,141	407,507		700,528	281,329	281,329			981,857
減価償却費					0		0			0
消耗什器備品費	35,756	2,659	93,585		132,000	34,000	34,000			166,000
消耗品費	248,105	4,653	163,774		416,532	113,781	113,781			530,313
印刷製本費	194,084	14,433	1,739,179		1,947,696	334,332	334,332			2,282,028
燃料費					0		0			0
光熱水料費					0		0			0
賃借料	4,346,804	200,948	1,515,729		6,063,481	1,234,153	1,234,153			7,297,634
保険料	64,400				64,400		0			64,400
諸謝費		720,160			720,160		0			720,160
租税公課		400			400		0			400
支払負担金					0		0			0
支払助成金			13,346,920		13,346,920		0			13,346,920
支払寄付金					0		0			0
委託費	4,540,600	314,563	981,480		5,836,643	5,890,213	5,890,213			11,726,856
有価証券運用費					0		0			0
雑費 雑支出					0		0			0
管理費								6,508,197	0	6,508,197
役員報酬								0		0
給料手当								221,000		221,000
退職給付費用										0
福利厚生費								0		0
会議費								0		0
旅費交通費								0		0
通信運搬費								102,000		102,000
減価償却費								0		0
消耗什器備品費								34,000		34,000
消耗品費								59,500		59,500
修繕費								0		0
印刷製本費								184,552		184,552
燃料費								0		0
光熱水料費								0		0
賃借料								523,600		523,600
保険料								0		0
諸謝費								0		0
租税公課								0		0
支払負担金								1,733,545		1,733,545
支払寄付金								0		0
支払利息								0		0
委託費 総務費								600,000		600,000
委託費 事務委託								540,000		540,000
委託費 会員費								1,100,000		1,100,000
委託費 特別会員費								100,000		100,000
委託費 広報費								0		0
雑費 渉外費								400,000		400,000
雑費 JCI渉外費								810,000		810,000
雑費 雑支出								100,000		100,000
経常費用計	9,947,043	1,367,558	18,856,477	0	30,171,078	9,008,215	9,008,215	6,508,197	0	45,687,490
評価損益等調整前当期経常増減額										0
特定資産評価損益等計										0
評価損益等計										0
当期経常増減額	-4,837,043	-987,558	-5,481,957	10,240,500	-1,066,058	2,740,035	2,740,035	-1,472,947		201,030
経常外費用計										0
当期経常外増減額	-4,837,043	-987,558	-5,481,957	10,240,500	-1,066,058	2,740,035	2,740,035	-1,472,947		201,030
当期一般正味財産増減	-4,837,043	-987,558	-5,481,957	10,240,500	-1,066,058	2,740,035	2,740,035	-1,472,947		201,030
一般正味財産期首残高										0
一般正味財産期末残高										0

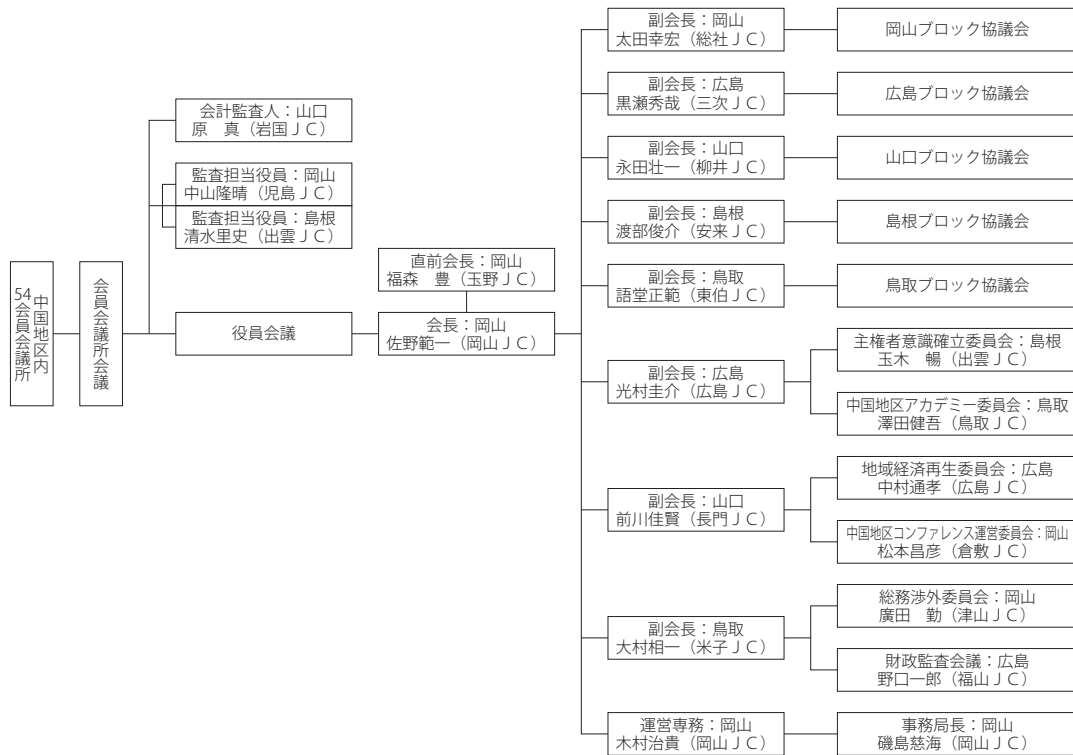
公益社団法人岡山青年会議所 2017年度 理事長公職

- 岡山県青少年育成県民会議 常任理事
- 岡山県FOS少年団連盟 理事
- 社会福祉法人岡山県共同募金会 評議委員
- 岡山中央暴力追放推進協議会 会員
- 岡山県西暴力追放推進協議会 会員
- 『小さな親切』運動岡山本部 役員
- 第67回“社会を明るくする運動”岡山県推進委員会 委員
- 自然との共生プロジェクト推進会議 委員
- 国立吉備青少年自然の家 施設業務運営委員会 委員
- 岡山市交通安全対策協議会 委員
- 岡山国際音楽祭実行委員会 委員
- 岡山市献血推進協議会 委員
- 公益財団法人岡山市公園協会 評議委員
- 春の花いっぱい運動 主催団体
- MOMOTAROU FANTASY実行委員会 実行委員長
- 「心豊かな岡山っ子」応援団 副団長
- 岡山市オレンジリボンキャンペーン実行委員会 実行委員
- 岡山地方裁判所委員会 委員
- 岡山市ジュニアオーケストラ後援会 理事
- 岡山まちとモビリティ研究会 会員
- 岡山っ子育成条例推進会議 委員
- 旭川さくらみちの桜を守る会 理事
- 旭川かわまちづくり計画事業推進会議 委員
- 岡山県日韓親善協会 理事
- 岡山県警察友の会 会員
- 「6月1日岡山市民の日」推進協議会 理事

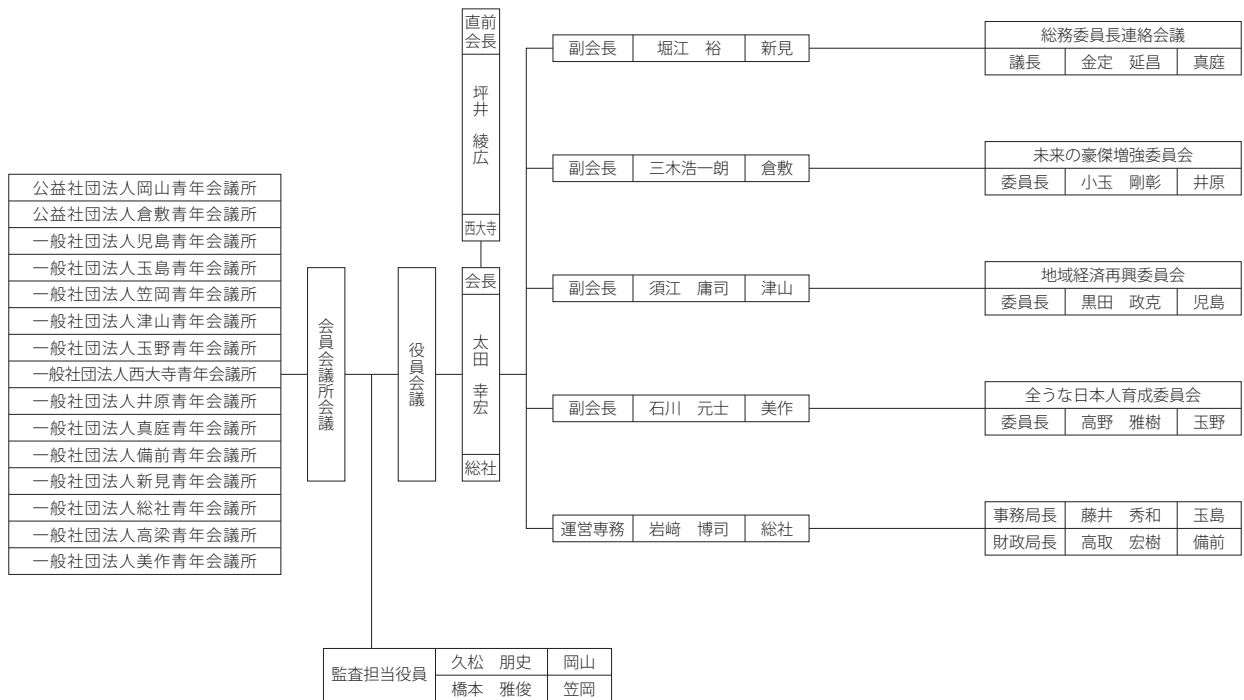
公益社団法人日本青年会議所 2017年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 2017年度 組織図



公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2017年度 組織図



公益社団法人岡山青年会議所 歴代理事長

初代	1951年	江見祐吉	第34代	1984年	滝澤輝治
第2代	1952年	江見祐吉	第35代	1985年	小嶋光信
第3代	1953年	松田基	第36代	1986年	末長範彦
第4代	1954年	松田基	第37代	1987年	伊原木省五
第5代	1955年	服部好郎	第38代	1988年	池田金治郎
第6代	1956年	稲田洋一	第39代	1989年	若林昭吾
第7代	1957年	藤木昌二	第40代	1990年	中島康博
第8代	1958年	池田徳五郎	第41代	1991年	永野資幸
第9代	1959年	庭瀬欣一郎	第42代	1992年	松田久
第10代	1960年	松田堯	第43代	1993年	服部恭一郎
第11代	1961年	関種雄	第44代	1994年	柳井淳
第12代	1962年	西下賢治	第45代	1995年	森下矢須之
第13代	1963年	逢沢英雄	第46代	1996年	西康宏
第14代	1964年	石原真臣	第47代	1997年	梶谷俊介
第15代	1965年	小林達也	第48代	1998年	稲荷泰瑛
第16代	1966年	中島輝夫	第49代	1999年	永山久人
第17代	1967年	黒瀬友近	第50代	2000年	黒瀬仁志
第18代	1968年	小林稔	第51代	2001年	西川智晴
第19代	1969年	奥山勝太郎	第52代	2002年	岡崎正裕
第20代	1970年	中島博	第53代	2003年	藤原史暁
第21代	1971年	木原佑一	第54代	2004年	梶原康彦
第22代	1972年	黒瀬敦美	第55代	2005年	八木一成
第23代	1973年	中野英一	第56代	2006年	占部守弘
第24代	1974年	徳元秀臣	第57代	2007年	吉村武大
第25代	1975年	福武和彦	第58代	2008年	石田敦志
第26代	1976年	片山義久	第59代	2009年	永山雅己
第27代	1977年	伊原木一衛	第60代	2010年	岸本浩二
第28代	1978年	石田規夫	第61代	2011年	中山賢太郎
第29代	1979年	藤原敬介	第62代	2012年	有松林太郎
第30代	1980年	前坂匡紀	第63代	2013年	尾崎茂
第31代	1981年	服部弘平	第64代	2014年	鈴木森賢史
第32代	1982年	野津喬	第65代	2015年	久松朋史
第33代	1983年	岡崎彬	第66代	2016年	佐野範一

(敬称略)